

発行 社会福祉法人 聖友ホーム
聖友乳児院（乳児院）
聖友学園（児童養護施設）

聖友ホーム応援団 聖友ホーム ささえ隊 会員募集中!

『ささえ隊』について詳しくは HP またはチラシをご覧ください



聖友乳児院院長 ごあいさつ

**「乳児院と児童養護施設が同敷地内にある法人のメリットを活かした
“切れ目のない支援”を目指して尽力します」**



竹内院長のよこが：
趣味は、海釣り、
行き先を決めないドライブ、
スポーツ観戦
（プロ & 高校野球、アメフト、
ラグビー等）など。
座右の銘は、
『鍛とは千年の行
練とは万年の行
然して勝負は一瞬』
（宮本武蔵の言葉、五輪書より）

皆さま、こんにちは。
平成 30 年の 4 月より聖友乳児院にて院長を務めております竹内正樹と申します。子どもたちのためには言うまでもなく、保護者の方、また職員のために尽力することが子どもたちの幸せに繋がっていくという思いを抱き、精一杯努力してまいりますのでよろしくお願いいたします。

私は同法人の児童養護施設（聖友学園）にて 22 年指導員として勤務し、2 年前の平成 28 年 4 月に当乳児院に人事異動して参りました。法人としては児童養護施設から乳児院に異動した初の職員であるにも関わらず、学園でのキャリアのほとんどが男児のホーム、かつ高齢児童（中高生）が多く、当時はその風体も含め『最も乳児院が似合わない職員』などと言われておりました（笑）。

“同じ敷地内に乳児院と児童養護施設がある法人のメリットを活かす”ことが当時も今後も最大の課題であり、聖友ホームの誇れる特長として豪語できるよう日々励んでいきたいと思っております。

4 月の職員会議では院長就任にあたり、4 つの柱を掲げ職員の皆に話をしました。

- 1) 人材育成
- 2) 部署間連携の強化（チームワークの強化）
- 3) 安全対策の強化
- 4) 子どもの人権尊重

どれも欠かすことの出来ない大切な柱ではありますが、何を為すにおいても全ての基本は人材＝職員であります。職員の働きやすい環境、長く続けられる環境は離職率の低下に繋がります、4 つの柱全てに共通する支援力の向上に直結します。現場出身である利点を活かし、常に現場視点を忘れない長でありたいと思っております。

まだまだ力不足で未熟者ですので、皆様からのご指導、ご協力を賜りながら一歩ずつ歩んで参ります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

フレッシュな力に期待! 平成30年度 入職式(辞令交付式)

4 月 1 日、聖友乳児院と聖友学園の新入職員 12 名を迎えて入職式を執り行いました。5 月には両施設の新人合同研修とともに、乳児院と学園の垣根を越えて新人同士、コミュニケーションが取りやすくなるように初めて懇親会も開催。聖友ホームのフレッシュな力にご期待下さい。



辞令書を手に仕事への意欲も高まります!

応援したい

支援のカタチ vol.1

支えたい

聖友ホームではたくさんの方から様々なカタチでご支援いただいております。

今年1月には、東京赤坂ロータリークラブ様が聖友学園の子どもたちを、色々な仕事が体験できるテーマパーク“キッザニア東京”へ招待して下さいました。また、里親さんへのサポートなど聖友ホーム発信の支援もごございます。

今回は2つの支援についてご紹介します。

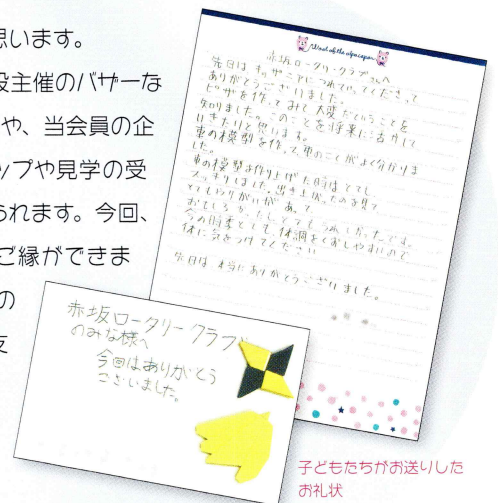
東京赤坂ロータリークラブ*様 ～“キッザニア”招待～ (会員様に伺ったお話をご紹介します)

キッザニアでは当会員と子どもがペアになって過ごしたため、時間の経過とともに距離を近づけることができ、楽しい時間を過ごしました。子どもたちはとても明るく元気に過ごしていることを改めて認識し、年上の子が年下の子の面倒をよく見ることに感心いたしました。ただ、別れ際に子どもから言われた(また一緒に来ようね)という言葉には曖昧な返事しかできず申し訳なく思った会員もいて、当会としては、子どもたちとの間に感じた埋められない距離、そしてそれを埋める努力をしなくていいのかな等、様々なことを考える良い機会になったと思います。

また、今後のご支援についてですが、クラブの活動は単年度主義という原則があり、毎年同様の支援はお約束できないことをご理解ください。しかし、支援を単発のイベントで終わらせず、お金をかけようがかけまいが出来ることを考えること・継続す

ることが重要だと思えます。

具体的には、施設主催のバナーなどイベントへの参加や、当会員の企業へのインターシップや見学の受け入れなどが考えられます。今回、児童養護施設とのご縁ができましたので、何らかの形で子どもたちを支援していけたらと思っています。



子どもたちがお送りしたお礼状

*ロータリークラブとは? 国際的な社会奉仕連合団体「国際ロータリー」のメンバーである単位クラブ。活動内容は、社会奉仕活動、寄付行為、友好事業など様々。

聖友ホーム『にこにこ広場』 ～ 特別養子縁組*の親子を支援 ～

聖友ホームでは、『にこにこ広場』という集いを年4回開き、里親さんを支援する活動を行っています。

4回のうち1回は里親支援専門相談員などを講師とした勉強会で、3回は里親さん同士の交流を図る会です。



通常は聖友学園のホールで行なっていますが、今年5月には杉並区の馬橋公園にて、初めてピクニック形式の『にこにこ広場』を開催しました!



この日は10組ほどのご家族が参加。子どもたちは水遊び用の池に足をつけて遊んだり、そばで見守る親御さんたちは雑談に花を咲かせたり、ラ

ンチタイムにはレジャーシートを広げてみんなでお弁当をいただきました。お母さん同士はもちろん、お父さん同士の交流もあり、新緑のなか楽しいひとときを過ごしていただけたのではないかと思います。

また、勉強会では主に、『出自に関する真実を子どもに告げる』という、里親さんにとって最も重要な課題について学んでいます。その告知をできるだけスムーズに行なえるようにサポートするのも『にこにこ広場』の大きな目的のひとつです。

そして、里親さん同士が同じ立場で困りごとを相談し合ったり、特別な感情や悩みを共有し合ったり、気兼ねなく育児の話ができる場があるのも大切なことだと思います。

今後、子どもの成長に伴い、様々な困りごとが出てくるかもしれませんが、聖友の『にこにこ広場』では皆さんを末長く見守り、支援していきたいと考えています。

*特別養子縁組とは? 養子になる子どもと実父母の親子関係を法律上終了させ、養親となる夫婦と縁組みして戸籍上の親子となる制度。

杉並区の馬橋公園にて

第 6 回

委員会活動紹介

——— 学園では 8 つ、乳児院では 7 つの委員会を設けています。 ———

それぞれの委員会に全職員が関わり様々な活動をしています。

今回は学園の食育委員会、乳児院の防災・防犯委員会をご紹介します。

委 員 会	
学 園	● 育 成 ● 余 暇 ● 学校・学習 ● 保健・用品 ● 防災・防犯 ● 地域交流 ● リスクマネジメント ● 食 育
乳児院	● 養 育 ● 余 暇 ● 看 護 ● お楽しみ実行 ● 防災・防犯 ● 地域交流 ● リスクマネジメント

学 園

食育委員会

子どもたちのより健全な食生活のために
今年度から新たにスタート

子どもたちの健康な心と体を育てるために、食品の栄養・旬や産地、伝統の行事食、食事のマナーなど、食に関するさまざまな知識を身につけて健全な食生活を実践できる力を育む食育。

聖友学園でも食育を重要視し、今年度から新たに『食育委員会』を設け、これまで調理職員主体で考えていた子どもたちの食生活について、より深く関わっていく取り組みを始めました。

メンバーは、栄養士 1 名、本園ホーム職員 1 名、グループホーム職員 1 名、家庭支援相談員 1 名です。



収穫体験・じゃがいも掘り

主な計画は、野菜の収穫や味噌作りなどの体験活動、子どもの食生活に関する課題（偏食・過食・拒食・マナーなど）の把握、職員希望者対象の料理教室（グループホームでは職員も調理をするため）など。

心身の健康の基本となる食について、年齢に応じた知識を身に付け、色々な体験を通して食べ物への関心を深め、食に対する感謝の気持ちを育てていけるよう活動内容を考え、取り組んでいきたいと思います。



新鮮なおいもをモクモク「おいしい〜」

乳児院

防災・防犯委員会

あらゆる非常事態に対応できるよう
考えて活動しています

防災・防犯委員会では、非常事態に備え、避難方法などを全職員が把握し・実際に行動に移せるよう考え、発信することを目的に活動しています。

主な活動内容は、毎月の避難訓練の計画と実施、毎月 1 回の委員会、防災倉庫の管理、講習会の企画、マニュアルの修正などです。

毎月の避難訓練では、その都度いろいろな状況（出火元や時間帯等）を想定し、避難経路や誘導の仕方を変えるなどして、あらゆる状況に対応できるよう工夫して行なっています。毎回、反省点や気付いたことを委員会で話し合い、次の訓練に活かすようにしています。

また、不審者が乳児院の前の公園にいたときには、前年度に実施した『防犯講習会』で警察の方から伺ったアドバイスを活かして対応することができました。

子どもの成長に合わせて避難方法を考えなければならないこと、訓練をスムーズに行なえるように計画することなど、考慮すべき点はたくさんありますが、子どもたちの安全を守るために頑張ります。



防災用品／炊き出し用の大鍋



備蓄食品。
賞味期限前に「おたのしみ会」
で提供します

3月

卒園式とお別れ会

3月21日 (学園)



子どもたちの巣立ちを祝う卒園式。式後の“お別れ会”では卒園生を囲んで楽しいひとときを過ごしました。



2018

春夏の行事いろいろ

5月

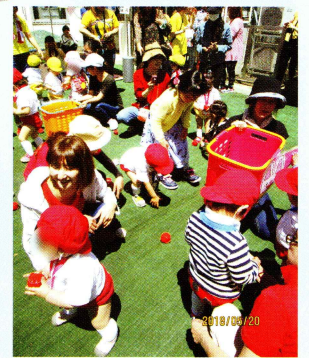
子どもの日

5月5日 (乳児院)



運動会

5月20日 (乳児院)



玉入れ、がんばりました！
今年も好天に恵まれました！



7月

セタ

7月7日 (乳児院)



セタのスペシャルメニュー



みんなでセタの歌を歌い、
人形を用いてセタのお話を
聞かせました

8月

おたのしみ会 8月26日 (学園)

日頃、お世話になっている方々へ感謝の気持ちを込めて、毎年8月26日に開催。子どもたちは計画・準備から参加し、当日も大活躍！綿あめ、焼きそば、たこ焼きなど、様々な模擬店をご来場の皆さまに楽しんでいただきました。



豪華(?)景品が当たる
ゲームコーナー



暗くなると提灯が灯りお祭ムード満点！



近隣の方にも
たくさん
ご来場いただきました



編集後記

記録的な暑さの夏でしたが、聖友学園の“おたのしみ会”で見られた、子どもと職員が一丸となって年に一度のお祭りを盛り上げる様子には、清々しさを感じました。ぴーちっこでは今後も、行事報告をはじめ色々な情報をお届けしていきたいと思えます。ご意見・ご質問は、下記Eメールアドレスまでお願いいたします。



発行 社会福祉法人

聖友ホーム

聖友乳児院(乳児院) 聖友学園(児童養護施設) 〒166-0001 杉並区阿佐谷北3-28-19

聖友乳児院 TEL 3338-1849 FAX 3338-4679

聖友学園 TEL 3338-1844 FAX 3338-1894

Eメール sasaetai@seiyuhomu.or.jp ホームページ <http://www.seiyuhomu.or.jp/>